



おじいちゃんおばあちゃんと 交流しよう!



子どもができる、親だけでなく祖父母も元気が出て、気持ちが若返りますね。
一方で、子育てをめぐる親とすれ違うこともあるようです。

祖父母との交流

子どもにも祖父母にもいいことたくさん!!

子どもにいいこと

- 祖父母との関わりにより、より多くの愛情を受け、子どもの情緒が安定する。
- 祖父母と一緒に昔のあそびをしたり、会話することによって、さまざまな価値観を知ったり、たくさんの経験ができる。

祖父母にいいこと

- 子どもから元気もらい、刺激を受けて、老化防止になる。
- 新たな生きがいを持つ、セカンドライフが充実する。

うれしいこと



親世代の気持ち

こまること

- 子どもの面倒をみてくれる。
- 子どもの個性を認めてくれる。
- 子どもの成長と一緒によろこんでくれる。



- 子育てにあれこれ干渉してくる。
- POINT! 親の子育ての方針をまずは認めよう!
- 「しつげがよくない」などと批判される。
- POINT! 親の子育てを否定せず、親の気持ちに寄りそおう!
- 食べものやおもちゃを勝手に買い与える。
- POINT! 親に確認してから買ってあげよう!

うれしいこと

祖父母世代の気持ち

こまること

- “ありがとう”、“助かった”など感謝される。
- 孫の笑顔に癒される。
- 孫を預かってほしいと頼りにされる。
- 旅行やイベントの時にさそってくれる。



- 子育てのやり方や意見を否定された。
- 子育てに対する意見を言っても聞き流されてしまう。
- 子どもを預かるのはいいけど、お守はけっこう疲れるということを親はわかっていない。



子育ての

昔

今

おじいちゃん・おばあちゃんにも知ってほしい!

昔は?

今は?

子育てに関する情報は時代と共に変化・進歩しています。
世代によって常識が異なることも生じてきます。
常識の違いを知っていればスムーズに子育てに協力できます。



- “抱きぐせ”をつけると、赤ちゃんは抱っこを求めてしゅちゅう泣くようになる。



抱っこ

- 抱っこがくせになることはない。“抱きぐせ”は気にせず赤ちゃんが求めている時はしっかりと抱っこを。

- 母乳より育児用ミルクの方が栄養があるとされていたことも。また、入浴後に白湯を飲ませる人もいた。
- 授乳は「3時間おき」に行い、「1歳までの断乳」と母子健康手帳に記載があった。
- ※断乳→ママのリードで授乳期をおわらせること。

母乳

- 母乳だけでも、不足分をミルクで補っても発育に問題ないようです。
- 基本離乳食がスタートするまでは白湯や他水分は必要ないと言われています。
- 3か月頃までは赤ちゃんが欲しがった時に。終了時期は食事から栄養がとれるようになるタイミングで。これは「卒乳」と表現されることもあります。



- 5か月頃からスタート。食べ物をみせて口を開ける頃がタイミング。「離乳食は果汁から」という考えもあった。



離乳食とアレルギー

- 5~6か月頃からスタート。赤ちゃんのペースにあわせて。現在はベビーフードも豊富にあるので活用しては? また、食物アレルギーの症状を示す赤ちゃんが増えているため卵や乳製品は様子を見ながら少しずつ。

- 大人のかみ砕いた食べ物を赤ちゃんに与えたり、箸やスプーンを共有することも多く、大人の持つむし歯菌が赤ちゃんにうつることがおきていた。

むし歯予防

- 生まれたばかりの赤ちゃんにはむし歯菌はいません。箸やスプーンを共有することで大人からうつることがわかってきました。共有せず食べましょう。また、定期的に歯科検診をうけて口の中のチェックをしましょう。